

読書推進イベントに関するアンケート結果(回答数138件)

アンケート期間2018年3～4月

書協会員社(420社)、
2014年～2016年の東京国際ブックフェアの出展社(約140社)
他、出版関連会社等、合計1,110社に送付。

【ブックフェア全般について】1) あなたは多くの出版社が一堂に会して開催される「ブックフェア」についてどのようなイメージをお持ちですか？

1- 開催することによって出版業界の活性化につながる

a そう思う	73	52.9%
b ややそう思う	49	35.5%
c あまりそう思うわない	11	8.0%
d わからない	2	1.4%
無回答	3	2.2%

1- 出版大国である日本でブックフェアが開催されるのが望ましい。

a そう思う	89	64.5%
b ややそう思う	35	25.4%
c あまりそう思うわない	9	6.5%
d わからない	1	0.7%
無回答	4	2.9%

1- ブックフェア(あるいは同種のイベント)に参加する際には、経済的な費用対効果の点を最も重視すべきである。

a そう思う	53	38.4%
b ややそう思う	47	34.1%
c あまりそう思うわない	30	21.7%
d わからない	3	2.2%
無回答	5	3.6%

2) 現在の出版業界において、どのような種類のイベントが必要であると思いますか？

2- 読者に直接商品を販売することを目的としたイベント

a そう思う	45	32.6%
b ややそう思う	54	39.1%
c あまりそう思うわない	34	24.6%
d わからない	1	0.7%
無回答	4	2.9%

2- 書店と直接商談ができるイベント

a そう思う	38	27.5%
b ややそう思う	52	37.7%
c あまりそう思わない	0	0.0%
d わからない	0	0.0%
無回答	48	34.8%

2- 海外の出版社やエージェントと日本で直接交渉できるイベント

a そう思う	49	35.5%
b ややそう思う	41	29.7%
c あまりそう思わない	0	0.0%
d わからない	0	0.0%
無回答	48	34.8%

2 一般読者に対して、出版業界のイメージアップや理解促進を図るイベント

a そう思う	73	52.9%
b ややそう思う	42	30.4%
c あまりそう思わない	0	0.0%
d わからない	0	0.0%
無回答	23	16.7%

2- その他のものがあれば、具体的にお書きください

注目の地方出版社の集い、出版賞の制定など。	イベント
著者と読書の交流イベント	イベント
学術書についての子供向け、大人向けセミナーがあると良い。	イベント
紙に絞ったイベント。	イベント
若年層向けの「本に親しむ」機会になるようなイベント	イベント
読者の裾野を広げることを目的としたイベント(特に大人)	イベント
デジタルネイティブの子どもたちに、本の楽しさを再発見してもらう、遊び心溢れる(アナログな)イベントの開催	子ども
20~30代の若年層の読書率が下がっているため、読書好き芸人等の有名人や現役中高生がディスカッションできるイベントを開催し、SNSでの拡散。	若者
求人的な意味も兼ねて、出版業界に魅力を感じてもらえるようなイベントなど。	就職
出版業への就職を志望/考慮する学生・社会人を対象とした個別相談窓口の設置など。	就職
来場する読者に出版物の芳醇さを訴えたい	読者
新たな本好きを育てて「書店に行ってみよう」と思う契機になるイベント。	読者
一般読者から書店へ期待すること(フェアなど)を聞ける場があればより良いのでは。アンケートでも。	読者アンケート
このイベントを通して日常の売上げ増につなげることが大事であり、会場での特価販売は集客のためには必要な要素かもしれないが、それが主目的化してはいけないと思う。	販売NG
低価格の販売合戦は他のイベントに任せた方が良い。	販売NG
読書の重要性を行政でも理解いただくため、教育者向けに読書の有益性を学ぶセミナーと、全国教育者への招待(交通費の補助や、それを目的とした助成金の獲得なども必要)。	行政・教育
自社のラインアップを一堂にみてもらい、自社への認識を深めてもらう場。	自社アピール
フェアの性格を明確化すべき	趣旨
他の展示会であるISOTやギフトショーなどの情報から、小さな書店では店長さんとアルバイトだけの形態も多く、決裁権のある店長クラスが店の通常営業の兼ね合いから来場いただけないことが多いので、いかにそのような方々に来場いただくことができるか、例えば事前に出展社情報や来場いただくメリットなどを記載した書店向けパンフを作成して配布するなどの取り組みも必要だと思われる。	書店
著作権に関して総合的な理解を請求できるイベント	著作権
リアル本も良いと思いますが、昨今の背景から電子書籍についても触れる必要があるのではと思います。両方のメリット・デメリットも分かってもらったうえで、両業界共に共存していくのが今後の出版業界において必要不可欠だと思います。	電子
各社様々な目的を持って参加すればよいと思う。	何でも
学参の編集プロダクションなので出版社とは異なる	その他
出版社ではなく紙加工製品、知育玩具のPR・販売で参加していました。	その他

3) 新たなブックフェアに、仮に貴社が出展するとしたら、どのようなブックフェアを希望しますか。重視するフェアの役割に3つまでチェックをつけてください。(回答の多い順)

a 本好きの人々が楽しめること	76
e 自社のブランドをアピールすること	63
b これまで読まなかった人が本に興味を持つこと	61
c 自社の本を販売すること	49
d 海外の出版社やエージェントと著作権交渉できること	34
f 自社企画をPRすること	33
g 書店と商談すること	32
h 著者と読者が交流できること	31
j 出版業界に就職したいと思う人を増やすこと	12
i 社員を教育すること	5
k その他(具体的に)	10

BtoCを基本とすべきと思うが、地方の出版社としては首都圏における書店との商談の機会の確保も重視したい。	地方・BtoB
地域の出版社が共同で出展	地方
学術書の存在を伝えるもの	学術書
著者の獲得	著者
読者と図書館や書店人に自社商品を見てもらい、興味を持ってもらうこと。	自社PR
人脈を広げること	交流
著作権取引を中心としつつ、イベント終了時には各国各社の出版物を一般来場者が手に取って見られるような(値引き販売ではない魅力を持った)イベントが望ましい。	著作権OK 販売NG
文具・読書用品の即販	第三商材

4) 貴社がブックフェアへの出展を検討する上で重視する点に3つまで丸をつけてください。(回答の多い順)

4-a 出展料	117
4-f 来場者数	68
4-d 開催時期	46
4-g 自社商品の売上高	34
4-b 会場へのアクセス	33
4-h 自社のスタッフ人員の確保	27
4-c ブースの広さ	19
4-e 開催日数	15

4-i その他(具体的に) 貴社がブックフェアへの出展を検討する上で重視する点	
出展社数。特に主要出版社(大手、有名出版社)の出展。(4件)	出展社
同じジャンルの版元が出展するかどうか。	出展社
ブックフェアのコンセプト、内容	趣旨
開催日に土日両方を含んでいるか	土日
場所が指定でき面前の抽選で決めること	ブースの場所
特別価格で本を販売することに躍起になっている感を否めない。できれば、参加全社が単独ブースで自社PRをしていくことが望ましいと感じる。	販売NG
費用対効果	費用対効果
ブックフェアに出展される出版社がクライアントなので、出版社の方が多く出展されること	その他

5) 貴社が単独ブース(10㎡程度を単位として想定)で出展するとしたら、出展料の上限はどのくらいまででしょうか? (仮に会期を3日間とした場合)

a 1単位あたり10万円まで	70	50.7%
b 1単位あたり15万円まで	17	12.3%
c 1単位あたり20万円まで	20	14.5%
d 1単位あたり30万円まで	16	11.6%
e 1単位あたり40万円まで	1	0.7%
f 1単位あたり50万円まで	4	2.9%
g コンセプトに納得がいけばいくらでも	2	1.4%
無回答	8	5.8%

医学出版社なので単独での出展は考えていません。(1件)

6) 貴社が共同ブースで出展するとしたら、出展料の上限はどのくらいまででしょうか? (例えば、幅1mの棚4段程度が使用できる場合。会期は3日間とした場合(その他は具体的に記述下さい))

a 5万円まで	74	53.6%
b 10万円まで	37	26.8%
c 15万円まで	8	5.8%
共同での出展する意志がない、共同出展は意味がないと思う	6	4.3%
その他	8	5.8%
無回答	5	3.6%

その他(具体的に)

出店は難しい
小スペースでもブースが良い。3万円から
来場者数や売り上げ見込み額による
1万5千円程度まで
2万円程度
3万円(2件)
20万円

7) 貴社がブックフェアに出展するとしたら、会期はどのくらいが適当だと考えますか。(何日間)

1日間	1	0.7%
2日間	27	19.6%
3日間	84	60.9%
4日間	6	4.3%
5日間	3	2.2%
3~4日	1	0.7%
3~5日間	1	0.7%
4日間(土日含)	1	0.7%
無回答	14	10.1%

8) ブックフェアの開催はどのような日が適当と考えますか。		
a 平日のみ	10	7.2%
b 平日 & 休日	115	83.3%
c 休日のみ	12	8.7%
無回答	1	0.7%

9) (国内外で開催されているブックフェア等のイベントにご参加されたことのある方にお聞きします) それらのイベントの中で、今後のブックフェアの開催に参考にすべきイベント名、また具体的にどんな点でしょうか?

自社スペースに著者を呼んだり、広場のステージで終日イベントが実施されたり、売る、というだけではなく、本を巡る楽しみがたくさんある	トークショー等
著者の意識が低い。もっと参加すべし。	トークショー等
著名人を招き、集客につなげる。	トークショー等
魅力的なテーマのセミナーや講演会。	トークショー等
無料トークショー	トークショー等
台北国際ブックフェア	台北
台北国際ブックフェア 対海外出版社との著作権交渉日と、一般の読者への販売と両立(台湾国内出版社の場合)し、ブックフェアとして成功していると思う!	台北
読者謝恩を考えるなら台北BF。著作権取引は海外からの評価があがらないと無理。	台北
北京国際ブックフェア: 出展料を比較的安く抑え、アジア地域から多くの出版社を集めている。東京も可能であれば国際的に特徴を出せるようなイベントにしていって欲しい。	北京国際
神保町ブックフェスティバル(出展料、販売価格や出品商品の自由度) 2件	神保町
ブックフェアという大きな括りではなく、例えば「猫本」フェアなど、テーマ別のものだと、本と読者が出会いやすいのでは? あるいは、ブックフェアの出展ブースを、版元別にするのではなく、テーマ別にするとか? この時代、「本好きな人と本との出会い」ではなく、テーマ別の世界(猫、犬、ワインなど)のおもしろさを体験するひとつのツールとして、本が存在するような形のほうがよいのでは? つまり、「猫」のブースには、本だけでなく、雑貨や猫関連グッズ、イベントがあるイメージ。 で、いろいろなテーマが一堂に会することで、おもしろい場になるのでは? 3月24日に開催される「本のフェス」のように、どこかの街全体で行われるイベントなら、純粋な本好きの人以外も多く足を運んでくれそう。	テーマ別 本フェス
昨年の「本のフェスin神楽坂」に出展したが、本はほとんど売れなかったものの、通りすがりのような人がたくさん来場し、活気があった。外から見ると、フードトラックがあって、音楽ライブがあって、子供達はお絵かきをしていて、という感じで、お祭り感があった。“本好き以外の人”をターゲットにするなら、展示場ではなく街中に近い立地で、かつ間口が広い会場でふらっと入りやすい雰囲気にしてほしい。	本フェス
飲食も楽しめる多彩な会場設定で来場者を増やす。	飲食
海外のブックフェアのように食事コーナーが充実すると良い。	飲食
食べる場所、飲む場所が近く(会場内)にある、来て楽しいイベントにしたほうがよい。例えば、お酒のフェスといっしょに共催するとか、複数の業界でいっしょに開催できないだろうか。	飲食
ソウル、パリなど徹底的に読者に向けたフェアであること。国がバックアップしていること。	読者向け 国の協力
読者へのノベルティプレゼント	読者向け
本を通して交流の場としたい。本に関わる人たち全てが集まればよいと思う。	読者向け
次世代読者を開拓できるようなイベント。特に社会科見学の一環として広く参加できるような仕組みづくりが重要に思う。そのために文科省・教育委員会と協業して新たな読書運動を広げられるような取り組みとなれば。	読者向け 教育との連携
本だけではなくライフスタイルとも関連したようなイベント。ライフスタイル系のものとの融合。(各1)	他業界
地方の出版社が参加しやすいようにしてほしい(費用軽減など)。	地方

あまり知られていない地方の出版社を見つけられる。日本は(出展料の都合で?)小さい出版社が出れないので、知っている出版社ばかりになってしまう。書店側としては営業担当を置いていないようなマイナー出版社の隠れた名作を見つけたい。	地方
コミック・サブカルコーナーの充実	コンテンツ
電子と紙が一緒のような大きなブックフェアではなく、紙に特化したもの。	紙
ギフトショーはバイヤー向けのイベントに特化しており現金売買は禁止されている。そのため一般客に時間を取られることなくバイヤーと商談したり商品説明ができる。直近のブックフェアでは一般客を招致して現金売上が可能にはなった反面、出展社が一般客の相手をしてしまうため書店や文具店などのバイヤーが近寄りなくなり、結果的に商談向けのイベントではなくなっていると思うので、商談するコーナーと一般向けのコーナーorゾーンを分けるなどの取り組みが必要かもしれない。	BtoBとBtoCのゾーンを分ける
運営方針の方向性の一致	趣旨
値引き以外の読者サービス	販売NG
主催者側が海外の権利者・エージェンツ・出版社等を招くこと(経済的援助もふくめて)	著作権
来場者が気軽に来られる状況をつくる(場所・料金等)。	利便性
本のストック場所の確保	利便性
業者の接し方が理由のひとつとしてあり、参加をやめました。別の業者のほうが参加側の立場になってくれます。	業者

10) 今後、東京国際ブックフェアに代わるイベントを開催するとした場合に対するご意見ご提案など、ご自由にお書きください。	
イベントの拡充と販売会場との連携(講演者の紹介した本(紹介記事)が会場内にある)など。	トークショー等
セミナーやシンポジウムで出版業界の未来について、様々な分野の方の見解を聞きたい。	シンポジウム
紙、電子を問わず、本の魅力を伝えられる企画、講演、シンポジウム等の充実	シンポジウム
映画の世界におけるアカデミー賞のように、例えば『日本出版大賞』で優れた本(ジャンル別)、著者、編集者、デザイナーを表彰するといったお祭り要素があれば楽しいと思う。	賞・お祭り
教育機関や町内会・市民ネットワーク等と連携して、子供がイベントを知る・参加する切っ掛け(あわよくば保護者/大人も同行する形で)をできるだけ増やせると良い。	教育機関等との連携
大手版元さんを中心に業界を挙げてのイベントをぜひ。	大手イベント
ギフトショーと合同はどうか?絵本や知育品などには向いています。	他業界
ライフスタイルは大事	他業界
出版業界と文具業界は近いようで、商習慣の違いから実は遠く、書店が文具を扱うときに掛率や買取・委託などの壁があり取り組みが難しく、書店で文具を扱いたいケースはあっても取引成立しないことが多い。リード社が主催のISOTは年々縮小傾向にある。国内大手メーカーはビッグサイトと別場所で自社製品だけを並べて展示するほうがコストが安く、結果的にISOTに出展するのは大手以外となり、さらに最近では中国・韓国・台湾メーカーが直接出展しているため、中国・韓国・台湾のバイヤーも多く、日本のメーカーで安心して取引したいと思っている文具店のバイヤーはISOTには来ず、文具問屋主催のフェアに参加することも多い。そのため、ブックフェアに替わるイベントを行っていただければ、ぜひ中小文具メーカーも招致いただき、書店の売り場を活性化させるような商談の場にしていきたい。	他業界 書店との商談
新聞社と合同で、活字文化を盛り上げるイベント	他業界
他のイベントと同時開催でより多くの集客を希望する	他業界
大手出版社だけでなく、中小の様々なジャンルの出版社が多く参加することが望ましい。	出展社
より多くの版元に参加していただきたい	出展社
日本の出版文化・活動の現在を俯瞰できる場所として、多くの出版社と読者が参加しやすい出店条件並びに開催場所を業界を挙げて確保したい。	出展社

TIBFにも何度か出展したが、メインのターゲットが誰なのかを明確にしたほうがよい。TIBFでは、商談商談と言うが書店員は来ないし、返品自由な書籍では仕入の商談をする場所とはなりえない。神保町ブックフェスティバルのように、一般読者を相手に売るといったターゲットをはっきりさせて開催して欲しい。また、大手版元、中堅版元、零細版元では対応力がそれぞれまったく異なるので、なんらかのフォローが必要だと思う。スペースは小さくても、出展料は取らずに、売上の一定%を納めるとか、何か工夫をして多くの版元が出展できるイベントになって欲しい。	ターゲットを明確に。 出展料
中小出版社が参加しやすい料金	出展料
東京国際ブックフェアは、年々参加出版社が減り、盛り上がり欠けていた。出展料を抑え、なるべく多くの出版社が参加できるイベントが望ましい。	出展料
ビックサイトなどの大規模会場でなく、サンシャインシティ文化会館や東京ドームプリズムホールなど、より都心部に近い会場での開催。また金土日や金土など2~3日間の開催で、出展料が安価なこと。	場所 出展料
出版社同士の交流、読者との交流	読者
書店、取次、エブリスタなど本に関わる会社も広く集めて、本当に出版界を挙げて本の楽しさをアピールするフェアを作って欲しい。家族で一日存分に楽しめるフェアを。	読者
先細りする出版界を見据えたとき、子どもたちに参加してもらうことは必須だと思います。	読者、子ども
読者層を広げるイベントにしてほしい。入場料を安く=子供は無料にして広く来てもらう。	読者、子ども
国外にも向けたイベントにしないと、ますます孤立化が深まりそうに思う。	国際
国際の名に恥じないようなイベント。	国際
著作権取引中心のイベントを望む。国際的に特徴、得意分野(例えば漫画、科学技術、教育等々)を持ったイベントにして欲しい。	国際 / 著作権
北京・台北などアジアを含め世界各国でブックフェアは開催されているのに日本(東京)で現在行われていないことは問題と感じる。是非、早期に開催できることを望む。	国際
著作権商談会は会期前に行なう。販売するコーナーと展示コーナーを分ける。著者の講演会やサイン会を増やす。会場限定販売の文具など品揃えを強化。	BtoB、BtoCを分ける / トークショー / 第三商材
BtoCに徹した、とくに若年層を意識したものであること。	BtoC
BtoBのイベントはすでにあるのでBtoCのイベントであるべき。本好きの人はもちろんだが、より一般の人に来てもらえるイベントになることに期待。TIBFで行っていた学校単位での来場や、小さな子供含む家族連れなど未来の読者に働きかけるイベントになってほしい。	BtoC
イベントの成否は「見本市」的なものから脱却できるかどうかのポイントとなるのではないか。	BtoC
書協が中心になる以上、日本で一番大きい、オフィシャルなブックフェアにするべき。であれば、ある程度お金がかかるのはやむを得ない。出展料が高くても、出展社にとってそれだけの価値があるブックフェアにしてほしい。従来のブックフェアは「一部の本好きのためのイベント」という側面、即売会の要素が強かった。ただの即売会であれば、神保町BFなどに比べて出展料が高すぎる。本好きだけでなく、より多くの人の興味を惹くイベントにしたい。また、とにかく出展社数を増やしてほしい。メジャーな出版社のブースがあるかないかで、イベントの魅力が大きく変わってくると思う。世間一般に対して、出版業界の人間の盛り上がりを見せつけながら、本の価値を高らかにアピールし、本を読むことや出版業界に憧れを抱かせるようなイベントにしていきたい。	販売NG 出展社数 本の価値
読者謝恩をしたいと思いますが、一方で「せどり業者」増加の問題が悩ましいです。その他、別の業者との開催ができればいいと思います。	販売NG 業者
本の安売りが目的であればやらない方がよい。	販売NG
一般読者、学校・図書館関係者が来場しやすい日程で調整をお願いします。	日程
パシフィック横浜など駅に近く、利便性が高い会場が理想に思えます。	場所
交通の便が大事。手軽に家族で行けるようなところがよい。	場所

本好きには、まだ知らない多くの本と出会っていただきたいし、本が好きでない方にも良書と出会って感じる高揚感や満足感を知っていただきたいし、本との出会いを媒介する業界関係者もその出会いを演出する喜びを感じられる場にできればよいと思う。具体案はないが、回ごとにテーマ性を持たせ、それにまつわる特定の本、特定の分野を特集するというようなことが考えられるのではないか。	趣旨
会計は書店にお願いしたい。	書店の協力
イベント企画会社主導ではなく出版業界主導でやった方がよい。	出版界主導
項目9で書き込んだ台北国際ブックフェアを参考にブックフェア開催を検討していただきたい。運営の委託は別の業者を検討した方がよい。	台北BF業者
AI、IoTとの融合	その他
出版社の編集者、ライターと出合えるイベントがあれば参加したい。	その他
本好きの人は大事だが好きな人同士が慰めあっても、それだけでは新しい市場を作り出せない。	否定的
東京国際ブックフェアの使命は終わりました。	否定的
東京集中の代わり映えしないイベントはやめたほうがよい。	否定的

1) 回答社の主な出版分野 (複数回答可)	
a 文芸	22
b 人文・社会科学	68
c 自然科学	32
d 児童書	31
e 趣味・実用	32
f コミック	10
g 芸術	17
h その他	17
上記すべてにチェックなし	15

2) 過去の東京国際ブックフェアへのご参加		
a 2016年まで単独ブースで出展していた	31	22.5%
b かつて単独ブースで出展したことがある	21	15.2%
c 2016年まで共同ブースで出展していた	31	22.5%
d かつて共同ブースで出展したことがある	17	12.3%
e 出展したことはないが見学には行っていた	29	21.0%
f 出展したことも見学したこともない	7	5.1%
無回答	2	1.4%